

VIVA! ひめじ

<日本語版> 2003. 12月 No. 7

発行(財)姫路市国際交流協会

情報誌作成ボランティア

URL <http://www.himeji-iec.or.jp>

P1	<People>フィリピン・カトリック司祭 Michael P. Dulnuan さん
P2,3,4	ベトナム「シン・チャオ!(こんにちは!)」Part 1
P5	読者からのコラム
P6,7	イベント情報・レポート
P8	協会からのお知らせ

<PEOPLE> フィリピン・カトリック司祭 Michael P. Dulnuan



マイケル神父さんは、フィリピンの北部、イフガオ省 (Ifugao) 出身。淳心会宣教師として、1998年に来日されました。現在は、カトリック網干教会に在任。同教会を拠点に、姫路、飾磨、加古川、龍野教会を駆け回って、日本語はもちろん、英語による国際ミサ、子ども対象のミサなど、さまざまな形で布教活動を熱心にすすめておられます。

もともとは、ブラジルへの赴任を強く希望していたという

マイケル神父さん。5年前、淳心会から第三希望国であった日本へ行くことが命ぜられたときは、まったく予想外のことに驚きと不安を隠せなかったといいます。

「一番大変だったのは、やはりことばです。」

来日して最初の2年間は、大阪市の日本語学校での日本語の勉強でした。中国からの学生が、80%以上を占め、友達同士は主に英語で会話するという環境の中で、初めて触れる「ひらがな、カタカナ、漢字」の世界がいかに困難なものであったかは、想像に難くありません。

そのほか、来日して驚いたことの一つは、夜になると一気に人が帰宅してしまうこと。とくに冬場などは、早い日没と共に、あっという間に通りから人がなくなります。そんなときは、故郷の町の、いたるところで夜遅くまで続く人々の喧噪が、とても恋しく思えるそうです。

日本文化で好きなものは?、との問いには、「祭り、温泉、そして(納豆以外の)日本食」という、陽気なマイケル神父さんらしい答えが返ってきました。とりわけ播州の祭りを語るときは、目の輝きが違いました。なんでも祭りのときの、日本男児のふんどし姿は、マイケル神父さんの故郷でも昔見られた光景らしく、初めてそれをみたときは、驚きのあまり、思わず写真をとって、故郷の家族へ送ったとか。



気さくで、おだやか。そして明るく、飾らない性格は、周りの人をリラックスさせ、思わず初対面だという事実まで忘れさせてしまう。マイケル神父さんとの約2時間のインタビューは、笑いの絶えない楽しい雰囲気の中、あっという間に過ぎてしまいました。来日してぶつかった言葉の壁、さまざまな文化の違いで感じた郷愁、それらすべては、今大きな原動力となっていて、日々教会を訪れるすべての人々を支えられているのだろう、そんな風に強く感じました。

Xin chào!

(シン・チャオ...ベトナム語の「こんにちは」) NO. 1

近年、日本で暮らす様々な外国籍の人々が増加し、交流が進んでいます。

姫路も例外ではありません。姫路を訪れる外国人観光客は、年間数万人、定住する外国人は、1万人を上回ります。中でもベトナム国籍の人は、1,150人(*1)と約1割を占め、ほぼ同数の神戸市とともに、国内最多の水準になっています。

(*1) 2003年9月30日現在「外国人

登録国籍別調査表」による姫路にベトナム国籍の人が多いのはどうしてでしょうか？ 背景と課題について探ってみました。

その背景には、ベトナム戦争(1964～1975)がありました。100万人以上の人々が犠牲となり、そのうちのおよそ半数が子供だったと言われる戦争でした。

家や土地を奪われ、家族で相談し、命がけで国を脱出し、来日された方々など、やむなくベトナムを離れた人々の受け入れ施設として、1979年、姫路市仁豊野に「定住促進センター」が開設されました。これは国内初の試みで、姫路カトリック教会のハリー・クワードブリット神父さんなどが開設に大きな役割を果たされました。そこでベトナムの人々は、日本語の学習や、就職の斡旋などの支援を受けました。

やがて、1996年には閉鎖されましたが、それ迄に延べ約2,600人が生活されていました。

こうしてベトナムの方々が姫路で生活を始めて、すでに四半世紀以上がたっています。その後、家族の呼び寄せなどにより来日された方々、最近では技術研修生の方々が来日され現在に至っています。

現在、姫路で暮らす子供達は、どのように日本で過ごしているのでしょうか。

ファム・バン・アンさん(当時小学校6年生)の作文から、来日した当時の様子、家族と暮らせる喜び、家族を大切に思う気持ちとこれからの決意が伝わってきます。

「日本に来て」

ぼくは、5年前に日本に来ました。そのわけは、お父さんが10年前にベトナムからポートピープル(*2)として、日本にだっしゅつしたからです。ベトナムは、20年いじょうも前にせんそうがありました。ぼくのお父さんは南ベトナムのかいぐんへいでした。せんそうがおわって国は北と南が一つになりました。でもせんそうにまけた南の人は、そのあとしごとや家やとちをうばわれてしまいました。ぼくのお父さんもへいたいだったので、そのあとたいへんだたそうです。

かぞくでそうだんして、お父さんとおじさんといとこの5才の男の子が、いつかをだいひょうして国をだっしゅつすることにきめたそうです。ベトナムでは男が、かぞくのために命をか

けるのがあたりまえだからです。

お父さんが日本に来てがんばってしごとをしてかぞくをよびよせてくれたから、ぼくは日本にきました。

日本に来て一番こまったことは、日本語です。センターで1ヶ月、日本語をおぼえました。それでもなかなかおぼえられなくて、とほり小学校でみんながはなしていることがわかりませんでした。ぼくは、とてもふあんでたまりませんでした。

花田小学校にてんこうして、1年1組になりました。ともだちができるかしんぱいでした。でもやっとお父さんとくらせるようになったのでうれしかったです。おねえちゃん3人とぼくとお父さんとお母さんでくらししました。すむところがせまくなったから3年のときに城東にひっこしてきました。なれないのでとても心配でしたが、ともだちもたくさんできて楽しくなってきました。

でも、4年生の12月のおわりにお父さんがしにました。お父さんは、ぼくたちがぞくのために一生けんめいはたらいて、はたらきすぎて知らないあいだに体をこわしていたのです。

きゆうに夜中にくるしんでしんぞうが止まってしまいました。なれない日本でがんばってくれていたお父さんがなくなって、お母さんはショックでおきあがれないくらいでした。

あれから2年たとうとしています。ぼくは、日本語ではなすことは大分できるようになってきました。でも、まだ国語やさかいやりかやさんすうの文しょうだいになると、日本語のいみがわからなくてこまります。

生き生ききょうしつ(*3)で勉強していますが、中学生になるのが少ししんぱいです。

でも、かぞくのなかで男はぼくひとりになったので、お父さんのかわりにお母さんたちをたすけてがんばってはたらきたいと思っています。そのために今むずかしくてもべんきょうもがんばろうと思います。

(*2) ベトナム戦争後の経済の混乱などにより、船で脱出した人を「ポートピープル」といい、陸路で脱出した人を「ランドピープル」という。

(*3) 城東小学校で行われている外国籍児童の為の日本語教室。

花田小学校でも、「ヴァンペルーム」という教室があります。

この作文を書いたファム・バン・アンさんは、現在、飾磨工業高校の多部制の3部の1年生で仕事に勉強に頑張っておられます。

来日した時期により子供達は様々な驚きや悩みに遭遇します。いくつかの例をあげてみましょう。

■ 日本で生まれた子供たちは、

ベトナム語がわからず、親とのコミュニケーションがとりにくいため「学校の宿題を親以外の人にみてもらう」、「ベトナムに行ったことがないけれど、ベトナム人。」と言われる、などの経験をしているようです。

■ 小学生で来日した子供たちについて、先生から、

「一番大変なことは、味付けの違う給食に慣れること。言葉、そして運動会などの初めての行事を経験すること。ベトナムでは、目上の人と話す時、目を合わさず、服従を意味する腕組みをして話しますが、日本人は、これを失礼な態度と誤解しがち。」という習慣の違いによるギャップを経験しているという話を伺いました。

■ 中学生で来日した子供たちは、

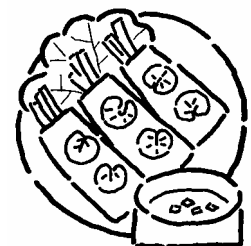
「日本人は先生に対して失礼な態度をとる。」「日本語や勉強がわからない。」などの疑問や不安を感じているようです。

先生からは「彼らは、日本人と同じ条件(同じ年の日本人が習得している、ひらがな、カタカナ、漢字1000字以上を理解の上での学習)で高校を受験しなければならないのです。」という厳しい現実に立ち向かっている子供たちの様子を伺いました。

上記の様な経験はベトナムの子供たちに限られたものではなく他国籍の子供も同じと思われます。

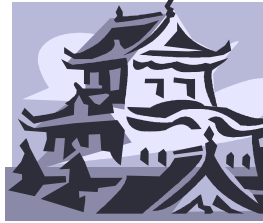
「言葉の違いは子供同士、通訳し合って助け合っているのですよ。」という先生の話もありました。

★次回は、ベトナムの子供達を支援して下さっている方々や教室、伝統文化のムーラン(ベトナムの獅子舞)を踊った中学生の作文を紹介します。お楽しみに。



私は姫路の町の特徴はすみやすいことだと思います。実際私の故郷のオーストラリア・アデレードにとっても似ています。町の中心には姫路の御幸通りにあたるランドルモールという大型商店街があり、街路樹や公園がたくさんあります。街並みは非常にわかりやすいです。

姫路は大阪やメルボルンのよう
せん。むしろほとんど地方にいる
すぐ飽きてしまうほど
なければならぬほど小さな町で
私のお気に入りの娯楽は、天の
リングすることです。特に晴れた



に圧倒されるほど大きな町ではありま
ような感じさえします。しかし姫路は
又、田舎につきもののうわさ話に耐え
はありません。

フィリップと一緒に姫路の町をサイク
リには気分爽快です。アデレードでは、

サイクリングは自転車専用道路を走らない限り、難しいのです。そこをそれて、歩道を歩くことは許されないのです。私は、アデレードの小学校で日本語を教えています。南オーストラリアでは、小学校入学当初から全ての子ども達に外国語を学ぶことが、義務づけられています。私は、1年間日本に滞在することは、文化に対する理解と日本語の技能の両方を改善するすばらしい方法だと考えました。そしてそれはその通りでしたし、その上に新しい友達もたくさん出来ました。

もし海外で1年間滞在することで得られるものがあるとすれば、いかにして人にたよらないで、もっと強くなれるかということだと思います。しかしおもしろいことに問題を解決する最も良い方法の一つは友人に助けを求めることなのです。私は、姫路は親しみやすい町だと思います。仕事場での日本人の同僚から私の住むしらさぎレジデンスの住人に至るまで私に困ったことがあると手助けしようとしてくれます。特に日本のように西洋文化と全く違う文化を持つ国で暮らすと、心配事やもめごとが起こります。しかし小さなものから大きな問題までただ相談しさえすれば、みんなはそれを解決しようとして手助けしてくれることが、わかりました。

冬まったただ中の姫路に向かうため飛行機に乗ろうとフィリップと私が家族や友人達と一緒に、オーストラリアのまぶしい太陽の照りつけるアデレード空港にいたのは、ほんの少し前のような気がします。私たちは、とてもすばらしい日々を過ごし、帰国まで後2ヶ月になりました。そして私はたくさんの人や場所や経験などと別れるのは、とても寂しいだろうと思い始めています。

姫路に1年の(あるいはもっと長い)予定で住み始めた人に私はこう言いたい。日本に居る間に出来るだけたくさんの日本に出会いなさい(「ロンリー プラネット ガイド」は、役に立つ旅行案内で、時間的余裕も得られます)。また新しい仕事場の同僚やルームメイトや隣人達や偶然会った人たちと気楽に話しましょう。世界各国から人々はあなたに新しい世界を開くような見識を持って姫路にやってきます。

私があった日本人はほんとうに協力的で温かく、歓迎してくれました。彼らは姫路での生活を容易にし、もっと楽しくしてくれるでしょう。あなたはただ手助けを頼めばいいのです。

イベント情報

12 / 31 16:00~ 輪抜け祭り(大祓)

場所：播磨国総社

年に2回、6月と12月の末に行われる祭事で、大きな茅の輪をくぐって神社に参拝します。茅には、魔よけの効果があると考えられています。

茅の輪のくぐり方

まず輪をくぐり左に回って元の位置に戻る。次に輪をくぐり右に回って再び元に戻る。最後にもう一度輪をくぐり、神社に参拝する。

大晦日~元旦 書写山オールナイトクルージング

場所：書写山園教寺・書写山ロープウェイ

12 / 31 21:00~ ロープウェイオールナイト運行

* 通常は 9:00~17:00 15分毎

23:50~ 本堂にて除夜の鐘

* 住職に続き一般参加者も1人一度ずつ鐘をうつことができます。

1 / 1 7:00頃 初白の出

書写山へのアクセス 姫路市営バス 6・8

番系統 ロープウェイ行きで約30分

ロープウェイ運賃

片道 大人：¥500 子供：¥250

往復 大人：¥900 子供：¥450

1 / 12 全国凧あげ祭り

場所：姫路公営競馬場

★全国から数百点の凧が集まり空高く舞いあがります。

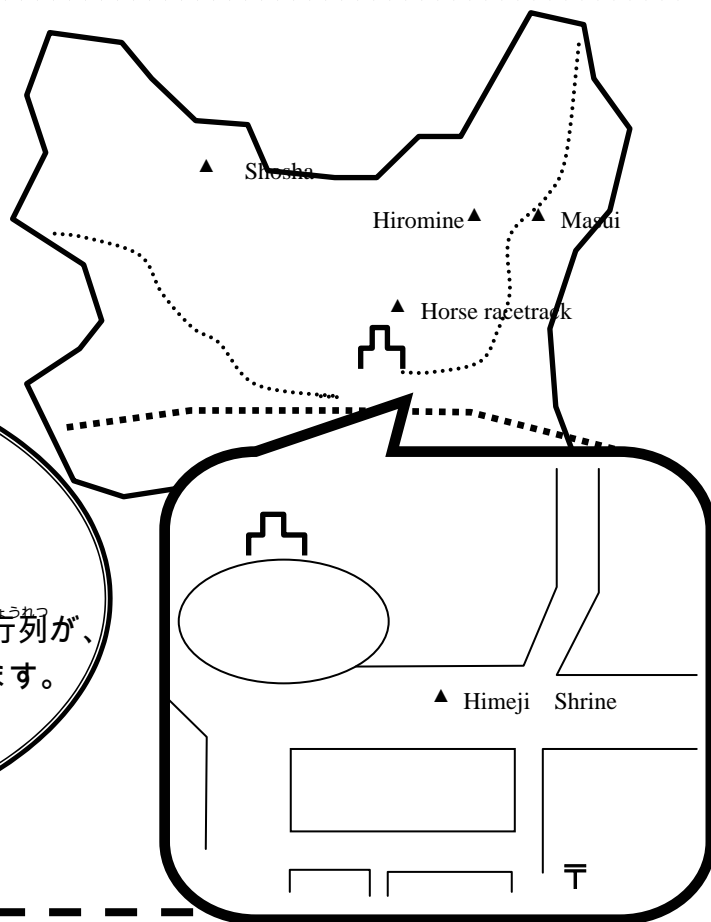
1 / 15~17 初ゑびす祭

場所：播磨国総社

★「福の神」である、えびす神の祭。

家内安全・商売繁盛などを祈願します。

17日には、福娘をのせた、ほえかご行列が、姫路駅前・商店街を賑やかに巡行します。



1 / 18 13:00頃~ 園教寺の鬼追い 「修正会」

場所：書写山園教寺 <http://www.shosha.or.jp/>

赤鬼・青鬼が松明や剣を手に本堂にあらわれ、鬼おどりをしながら、厄払いをします。

赤鬼・青鬼といわれている鬼達は、実際には鬼ではなく、乙天(おとてん)・

若天(わかてん)と呼ばれる童子で、山の守護神でもあります。

祈とうの最中には、「鬼の箸」と呼ばれる厄除けの札がまかれ、参拝者が奪いあいます。

2/3 豆まき (節分)

無病息災を願い、全国各地で節分の行事が行われます。
病や災いを菟にたとえ、「菟は外、福は内」というかけ声とともに豆を投げます。
また、これらの豆を年の数だけ食べることにより、1年の健康と幸せを祈る習慣があります。

播磨国総社 16:00頃～ 本殿より餅・豆まき
善写山園教寺 13:30頃～ 豆まき
袋入りの豆の中には、
金の観音像・銀の観音像・大鏡餅の引き換え券
が入っているものがあります。
運良くゲットできるといいですよ！

姫路神社「追儺式」

13:30～ とんどの火入れ

14:00～ 豆まき

◆ 広峯神社 16:00～ 豆まき

2/11 増位山 鬼追い

場所：増位山随願寺

11:00～15:00 福引大会・神事のあと
餅まき

★福を呼び厄を払う神事。

イベントレポート

第8回国際交流フェスティバル

10月26日(日)、晴天の中、大手前公園にて
国際交流フェスティバルが開催されました。
多くのボランティアの手で作りあげられるこの
フェスティバルも今年で第8回目を迎え、言葉・
文化の違いをこえ、盛り上がりました。
料理ブースでは、各国自慢の料理の数々！！
これがなんとどれでも1つ 100円で味わえるの
です。

世界各国出身の方の手ほどきを受けながら
作られた

料理は本場の味でした

ステージでは各国の民族舞踊が披露され、
訪れた人達が見入っていました。また、中国と会場
をインターネット回線で結び会話を交わすなど、
まさに国境を越えたフェスティバルでした。

そのほか、いろいろな国の言葉で会話を楽しめる、
語学講座や民族衣装の着付けなど、盛りだくさんの
内容で、あっという間の1日でした。

次回は、皆さんも是非参加してみては？！

協会ホームページ [hppt://www.himeji-iec.or.jp](http://www.himeji-iec.or.jp) にてフェスティバルの詳しい様子をご覧になれます。



ざい ひ め じ し こくさいこうりゅうきょうかい し
☆☆☆☆(財)姫路市国際交流協会からのお知らせ☆☆☆☆

こくさいこうりゅう ひろば にほん ふゆへん
■「国際交流ふれあい広場」～日本の冬編～

にちじ 2003年12月21日(日) 10:00～14:00

場所 イーグレひめじ3階 料理教室

にほん ふゆ ぶんか をたいけん ひと しょうかい ひと こくさいこうりゅう ひろば にほん ふゆへん
日本の冬の文化を体験してみたい人、紹介してみたい人、国際交流ふれあい広場～日本の冬編～

に参加しませんか？

内容 季節の料理をつくろう！(お雑煮など) 年賀状を作ろう！

対象 一般

募集人数 30名 申し込みは先着順で受け付けます。早めのご応募をお待ちしています。

申し込み先 (財)姫路市国際交流協会 TEL 0792(87)0820 FAX 0792(87)0805

こくさいこうりゅう としょコーナ ほんの読み聞かせかい し
■「国際交流センター図書コーナー『本の読み聞かせ会』のお知らせ」

姫路市国際交流センター図書コーナーでは本の読み聞かせの会を開いています。

もし母国の絵本・童話を読んでほしい、子供に読んであげたいという方が

いらっしゃいましたら、お知らせ下さい。

ベトナムの童話、ブラジルのお話など何でも結構です。

TEL 0792(87)0820 FAX 0792(87)0805



へんしゅうこうき ※※※※ 編集後記 ※※※※

今回と次回、姫路にたくさん住んでいらっしゃるベトナム国籍の方にスポットを当てて、考えてみたいと思います。今回は、背景について。また、今回から、以前から懸案のベトナム語の翻訳情報誌も作成することになりました。在住のベトナムの方はもちろん、ベトナム語を勉強してみたいなと考えていらっしゃる方にも読んでいただけたらと思います。

VIVAでは、皆様のご意見・感想をお待ちしています。皆様とともに、より親しみやすいVIVAを目指してスタッフ一同がんばりたいと思います。なお、お問い合わせ等は下記の連絡先へお願いします。

※※※

ほんやく ネットィブチェックのお手伝いをしていただいた方

英語：小田愛弓、黒崎美恵、濱田英美子、井田滝子、山口かほり、Jennifer Krasnoff

中国語：周江涛、刘璐威、李果、李继琳

スペイン語：園田武志、福永有子、渡辺智子、大谷アリシア

ベトナム語：石田建、ゲン・ビュト・ダン

ご協力ありがとうございました

れんらくきき 連絡先

(財)姫路市国際交流協会 Himeji International Association

〒670-0012 姫路市本町68-290 イーグレひめじ3階

TEL 0792(87)0820 FAX 0792(87)0805

Mail to : kokusai@city.himeji.hyogo.jp